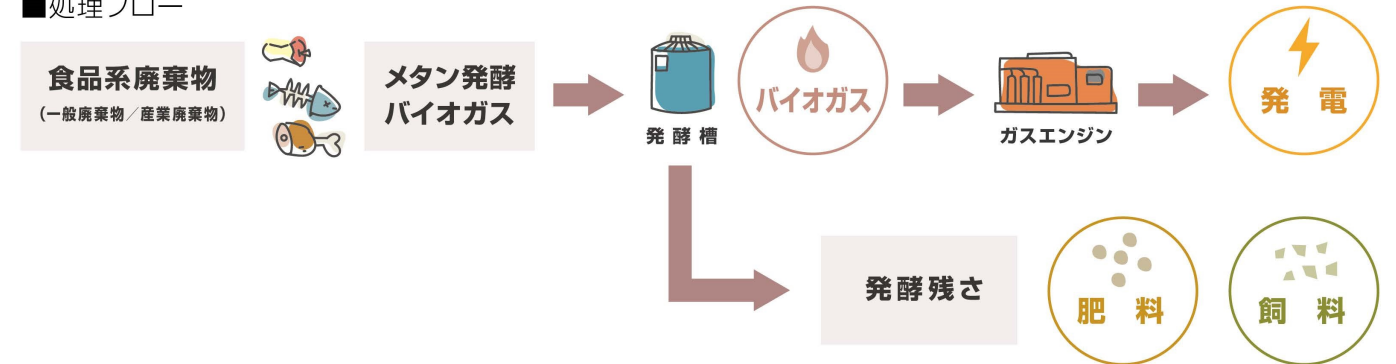


# 食品リサイクル・バイオガス発電

食品廃棄物を再生可能エネルギーに変え、地産地消により、循環型社会の実現に貢献



## ■処理フロー



## 関東エリア

Jバイオフードリサイクル (横浜市) 創電割®  
2018年稼働開始  
JBIO FOOD RECYCLE

千葉バイオガスセンター / 蘇我バイオパワー (千葉市)  
2003年稼働開始  
2021年稼働開始

## ■株式会社 Jバイオフードリサイクル横浜工場 [横浜地区]

JR東日本グループとの協業による  
食品リサイクル・バイオガス発電事業

計画処理量：120t/日  
発電：1,800kW  
対象：一般廃棄物(食品廃棄物)、産業廃棄物(動植物性残さ・汚泥・廃酸・廃アルカリ)



**JBIO FOOD RECYCLE**



JFEエンジニアリング株式会社  
J&T環境株式会社



JR東日本  
東日本旅客鉄道株式会社



株式会社 JR東日本環境アクセス  
(JR東日本グループ)



# 食品リサイクル・バイオガス発電



## 札幌バイオフードリサイクル 株式会社 [北海道地区]



札幌市内より排出された厨芥類をメタン発酵させることにより発電・売電を行うとともに家畜の飼料原料などを製造・販売

計画処理量：68t/日  
 発電：250kW  
 対象：一般廃棄物(食品廃棄物)



## 福岡バイオフードリサイクル 株式会社 [九州地区]



食品リサイクル・バイオガス  
 発電事業として九州地区初進出

計画処理量：100t/日  
 発電：1,560kW  
 対象：一般廃棄物(食品廃棄物)、産業廃棄物(汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物性残渣)



福岡バイオフードリサイクル株式会社  
 FUKUOKA Bio Food Recycling Co., Ltd.



## 株式会社 東北バイオフードリサイクル [仙台地区]



JR東日本グループと東京ガスとの協業による  
 食品廃棄物リサイクル・バイオガス発電事業

計画処理量：40t/日  
 発電：780kW  
 対象：一般廃棄物(食品廃棄物)、産業廃棄物(汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物性残渣)



TOHOKU BIO  
 FOOD RECYCLE



## 株式会社 バイオス小牧 [東海地区]



食品リサイクル・バイオガス発電事業として東海地区初進出

計画処理量：120t/日  
 発電：1,100kW  
 対象：一般廃棄物(食品廃棄物)、産業廃棄物(汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物性残渣)



bios  
 KOMAKI



## 千葉バイオガスセンター／蘇我バイオパワー 株式会社 [千葉地区]



食品残渣等の有機性廃棄物をメタン発酵させて得たバイオガスを燃料ガスとして供給

計画処理量：60t/日  
 対象：一般廃棄物(食品廃棄物)、産業廃棄物(汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物性残渣)



千葉バイオガスセンターにて生成された  
 バイオガス燃料による発電・売電事業

発電：1,160kW



### JFEエンジニアリンググループ 食品リサイクルの取り組み

#### 長岡市生ごみバイオガス発電センター

新潟県長岡市寿3丁目6番1号  
 「長岡市環境衛生センター」敷地内

処理能力：  
 65t/日



#### 豊橋市バイオマス利活用センター

愛知県豊橋市神野新田町字中島5番地

処理能力：  
 59t/日  
 (+汚泥472m<sup>3</sup>/日)

